

SQUARE



No. 104

習志野市国際交流協会会報
スクウェア 第104号
2014(平成26)年1月1日

発行 習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼 5-12-12
サンロード津田沼 6F 〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
http://www.nia08.com/
(Email)niasquare@m.jcnnet.jp

主な内容 CONTENTS

- 第6回ふれあい祭りが開かれました
- 連載・あなたもできます「留学自分流」第2回、留学先の選び方ほか
- 「世界をみよう in 鷺っ子まつり」が開かれました

詳しい記事、およびカラー版が NIA ホームページからご覧になれます

「世界をつなぐふれあいフェスタ」をテーマに 第6回ふれあい祭りが開かれました

ふれあい祭り実行委員長 今井洋子

習志野市国際交流協会では毎年、会員、市民、在住外国人に多文化を発信する場と機会を設け、相互交流と理解を深めるとともに、当協会の活動の周知と推進を図ることを目的にふれあい祭りを開催しています。

崎山会長から「今年のふれあい祭りは、谷津干潟の外周をウォークラリーして皆でいい汗をかこうよ」と発言があり、第6回のふれあい祭りの実行委員会が平成25年8月に立ち上がりました。

10月27日(日)は素晴らしい晴天に恵まれました。催物はウォークラリー、音楽イベント、軽食販売です。また同日開催イベントとして「アオサについて考える集い」と「習志野市内小学生絵画展」が開催されました。



タスカルーサ市からのボールペン贈呈式
撮影：小島明

ウォークラリーは谷津干潟自然観察センターの外周 3.5km のコースです。参加者には、NI-Youth オリジナルの缶バッジを、また3か所のスタンプポイントでクイズに挑戦した正解者に対しては、タスカルーサ市姉妹都市委員会のリサ・キーズ

専務理事から贈呈されたボールペンを差し上げました。それに先立ち、ボールペンの贈呈式も行われました。また、参加した方全員に習志野市企業局からの水のボトルが配られました。



ウォークラリーのクイズポイントで
撮影：小島明

音楽イベントは高村理事に担当していただきましたが、楽しくかつ素晴らしいステージをプランニングして下さいました。

総合司会と歌は元劇団四季の横洲かおるさんで、綺麗なソプラノと楽しい司会でした。地元習志野で誕生したラテンアメリカの民族音楽バンド「ナスカ」によるフォルクローレ演奏や、口笛奏者の大場エベレット君による口笛&アンサンブルの演奏が続きました。彼は2年間連



フォルクローレ演奏のナスカのみなさん



”ダブルダッチ”には観衆も参加

続で世界口笛選手権大会子供部門の世界チャンピオンの資格を保持しています。千葉県立津田沼高校生のダブルダッチ(なわとび演技)も世界大会で上位入賞をしているチームで、彼等は演技だけでなく会場の人にも参加を呼びかけ、会場を盛り上げました。沖縄音楽の三線の宮里英克さんと琉球國祭り太鼓のみなさんは大勢の踊手でエイサーを披露し、さらに観衆も仲間に引き入れて一緒に踊り、第6回ふれあい祭りのフィナーレを飾って下さいました。



模擬店では賑やかにもちつきも

「食」については、新そば、元留学生が作ったベトナムの家庭料理、元力士、琴剣のチャンコ、餅つきをしてくださったあきつ園などの模擬店が出され、いずれも好評でした。布施理事は中央ロータリークラブの皆さんと、大きな美味しい餃子を焼いてもてなして下さいました。

このような多彩な企画で、今回のふれあい祭りは多くの方に楽しんでいただけたかと思ます。

新体制が発足

NI-Youthでは、代表及び副代表の引退に伴い、新代表と新副代表の選挙が行われました。新代表は信任投票で小野翔に決まり、新副代表は投票により荒木滉一と石野好洋に決まりました。

引退したメンバーの意思も受け継ぎながら、現在の20数名のNI-Youthメンバーの高いモチベーションと活発な行動力を活かし、メンバーの持てる力を十分発揮できるような環境を作っていきます。そしてNIA会員の方々の応援も得て、交流会や海外青少年派遣事業などにも参加していきたいと思えます。(報告 小野翔)

ふれあい祭りのウォークラリーを企画・運営

10月27日に開催されたふれあい祭りでは、NI-Youthはこの祭りのメインとなるウォークラリーの企画、実施を行いました。

ウォークラリーのコースは谷津干潟を1周するコースです。3箇所のスタンプポイントでは、国際交流を

意識しつつ、谷津干潟の特徴を活かした渡り鳥を取り上げたクイズを行いました。ゴールに帰ってきた子供たちは「楽しかった」と言い、景品にも喜んでいました。またゲームコーナーでは、子供たちとゴム鉄砲の射的やクイズを行いました。



子どもにクイズの問題を見せませす

ハロウィンパーティーで 仮装コンテスト

NI-Youthは10月26日に津田沼でハロウィンパーティーを開催しました。今回はYouthのメンバーのほか、県外や近郊の大学生、アメリカ、ブラジル、ペルー出身の外国人など、多国籍なハロウィンパーティーでした。各々がお菓子や飲み物を持ち寄る立食形式で、参加者約30人はそれぞれが個性豊かな仮装をし、福笑いゲーム、風船運びゲームなどを楽し

みました。初対面の者同士でもすぐに打ち解けて仲間の輪が広がりました。最後に一人ずつファッションショーのように会場内を歩いた仮装コンテストは大変な盛り上がりとなりました。

NI-Youthが描くビジョン「虹色の世界をみる、しる、描く」が、このように多国籍の者同士が一堂に会して相互理解が深まることで、少しずつその実現に近づいていると感じました。(報告 貫ひろか)

子ども達とクリスマス会

12月21日(土)、菊田公民館でクリスマス会が開かれました。

今回は参加した10名の子供達を、クリスマスにちなんだ劇「サンタ救出大作戦」の物語に誘い、その中にゲームを入れて進められました。

会場一杯にこだまする子供達の元気な声の中で物語は進みます。物語の途中に、〈じゃんけん列車〉〈イラスト合わせ〉〈風船をウチワで運ぶ〉〈紙飛行機〉〈〇×ゲーム〉〈宝探し〉などのゲームが組み込まれていて、子供達、Youthのメンバー共々大いに盛り上がりました。

最後に子供達はサンタさんから贈りものをもらい、大満足で会場をあとにしました。(報告 江利川雄介)

仮装して食べ飲み歌った ハロウインの一夜

10月11日金曜日、レストラン「コーポニョポニョ」で行われたフライデーサロンはハロウインを祝うお祭りでした。カボチャの中身をくりぬいた「ジャック・オー・ランタン」はありませんでしたが、30数名の参加者は色とりどりの帽子や、ベールで仮装して初秋の一夜を楽しみました。

“名前” “出身地” “好きな俳優”の簡単な自己紹介をして、ソフトドリンクやワインを飲み、美味しい料理に舌鼓をうちながら、みなさん話に花を咲かせていました。懇談の途中で、石津陽子さんのリードで「ありがとう(いきものがかり)」の合唱が始まりました。英語の歌「トリック・オア・トリート」と「オータムリーブス」の2曲がジェシカさん、日向

さんのリードで続きます。雰囲気是和らいたところで「ハッピー・ハロウイン」の

挨拶に併せて参加者全員に可愛いキャンディーとクッキーが配られました。そして「Auld Lang Syne(蛍の光)」の曲を最後にお開きとなりました。



料理を手に、盛り上がる魔女?のみなさん

クリスマスパーティーで お好みの歌を披露

12月20日、フライデーサロンが催されました。12月の今回はクリスマスパーティー。クリスマスソング

の流れの中、楽しく食べたり、飲んだり、おしゃべりしたり。ダンスタイムには、ジルバ(らしきもの?)をにぎやかに踊ったり。全員で大きな輪になっての自己紹介タイムには、一人ひとり順番に、自分の名前を述べてから好きな歌の出だしを歌う、というノルマが課せられました(!?)。古い歌、新しい歌、そしていろいろなクリスマスソング。各人、お好みの歌をお見事に披露しあい、皆ニコニコ。最後に「ホワイトクリスマス」を全員で歌いました。

参加者は約35名。イギリスやロシアの方。それに、タスカルーサ市から派遣されたALTジェシカ・ハギンズさんの来日中のご家族もおみえになり、さまざまな交流の輪がひろがりました。

連載

あなたもできます 「留学自分流」

小川翔平（広報青年部会）

第2回 留学先の選び方、目的、費用、期間

■留学先の選び方

留学先として多くの人が挙げるのが「アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリア・ニュージーランド」といった英語圏の国々だと思います。しかし、留学先として考えるべきなのは主要英語圏の国だけではありません。まず私はそれを強調したいと思います。

サッカーが好きだからブラジルに行きたいという人もいれば、韓国ドラマが好きだから韓国に行くという人もいます。意外なところでいうと、英語の勉強をしにマレーシアやフィリピンなど、東南アジアの国に行く人もいれば、日本語教師になる勉強をしにイギリス、オーストラリアへ行く人もいます。あとはデザインの勉強をしにデンマークに行くとか、書道を学びに中国へ行く人もいます。私も中国語を勉強するためにシンガポールへ留学しました。シンガポールでは英語も中国語も共通語として使われているので、2つ以上の言葉を勉強することができます。

とにかく、自分の体が1つしかない以上、一度に行ける国は1つです。どこに行きたいかしっかり考えましょう。半年はメキシコで半年はアメリカというような選択肢もあると思うし、実際にそのような形で留学する人もいます。

■留学の目的

自分がなんのために留学をするのか、その目的、最終目標をしっかりと考えましょう。ただ単に「英語が勉強したいから」という理由で留学しても何も身に付きません。外国の空気を吸ったからといって自分が自動的に変わるわけではないのです。誰でも努力の結果として語学力が向上したり、新しい価値観を手に入れ、パワーアップして帰ってくるのであって、「留学イコール成長」ということはありえません。言葉の勉強などは日本でもできます。なぜ多額の投資をし、現地に行って勉強するのか、その意味をよく考えることが大切だと私は思います。



筆者が利用した韓国の通学バス。日本のバスに似ているが、乗ってみると全く違う。

■留学の費用と期間

留学にはどのような費用が必要なのでしょうか。具体的にリストアップしてみます。

授業料／家賃／現地での生活費（食費、交通費、交際費等）／旅行保険／航空券

以上はどのような留学に行く場合も大体必要です。国によりますが、語学留学の場合、主要英語圏で年間250～400万ほど必要だと言われています。アジアや南米などの物価の安い国であれば100～200万円以下で1年単位の留学が可能です。私が韓国に1年間留学した際は合計で約150万円かかりました。

パスポートを持っていない人は別途パスポート申請料が必要ですし、長期の場合にはビザの取得が必要なのでビザ申請費を支払います。自分ですべて手配する場合は不要ですが、留学エージェントを通しての留学であれば契約料が数万円必要です。

高校生が留学に行く場合は自分ですべて手配することは難しいでしょうから、交換留学制度を利用する場合はほとんどだと思います。その場合は授業料の負担がなかったり、奨学金等が支給される場合が多いので、実質負担額は英語圏でも150万円ほどだそうです。

費用の話の次は期間についてです。日本と海外では学期制が異なるため、留学時期の選択は非常に重要です。高校生であれば国内での進学が一年遅れる可能性も出てきます。大学生であっても、単位の振替や始業時期のズレなどで休学の必要が出てくる場合もあります。在学している学校の教員や、先輩、両親とよく相談してから留学時期を決めましょう。かなりの覚悟が必要にはなりますが、高校卒業後に日本の大学へ進学せず、そのまま海外留学するケースもあります。

また、資金面で両親からの援助を受けられるのであれば留学費用についての心配はあまりないかも知れませんが、自分で留学費用を準備しなければいけない場合、貯蓄にかかる期間も大事なポイントになります。私は大学2年の1年間を留学費用の貯蓄と、語学勉強のために当て、そのあと休学して韓国に1年間留学しました。

留学に行くのは大きな決断です。しっかりと考え、準備をする必要があります。



シンガポールの表示は多言語表示。水飲み場の表示は多言語表示。

11月30日(土)、鷺沼小学校で行われた「鷺っ子まつり」に、日本語教室で活動している日本語学習者やボランティア有志が参加して「世界をみよう in 鷺っ子まつり」が開かれ、子どもたちと外国人学習者がふれあいのひとときを過ごしました。

参加したのは学習者、ボランティア、NI-Youth、NIA 関係者、市内の有志のかた、総勢 55 人です。そのうち学習者の関係は 20 人で、出身国



みんなでサンバを踊りました



サインや国旗シールをもらいました

はブラジル、ペルー、中国、フィリピン、タイ、マレーシア、インド、ネパール、スリランカでした。

それぞれの国のコーナーに立ち寄った子どもたちは、国によって異なるジャンケンをしたり、各国の文字で書かれたサインや国旗のシールをもらったり、珍しいカレンダー、楽器、本、お金、各国の物産品などを手に取って説明を聞いていました。

またインドのカレーのスパイスや

「世界をみよう in 鷺っ子まつり」が開かれました

中国の伝統折り紙、切り絵も関心を集めていました。NI-Youth の世界のカルタも好評でした。さらにタイやインドの学習者が着た華やかな民族衣装、フィリピンの学習者エロンさんのヒップホップダンス、みんなが参加したサンバダンスは一層雰囲気盛り上げました。

会場の 1 年 3 組の教室は終始人で一杯になるほど予想以上の大盛況でした。わずか 2 時間でしたが、約 200 人の子どもたちそれぞれが、楽しい時間とともに新鮮な体験ができたことでしょう。

日本語教室でスピーチ茶話会が開かれました

10月28、30、31日、各曜日の日本語教室で「スピーチ茶話会」が行われました。この会は、学習者がこれまで勉強してきた日本語の成果を、スピーチという形で仲間の前で披露しあうものです。持ち時間は 1 人 3 分前後。テーマは、自分のこと、母国のこと、日本での暮らしについてなど、なんでも自由です。

30日の水曜クラスでは、19名が



母国インドのお祭りについて熱心に語るスネハルさん(左)。



馬蹄型に座った学習者たちは、互いに励まされていてスピーチ。

スピーチに参加しました。初めに、学習者と日本語ボランティア全員で「上を向いて歩こう」を合唱してリラックス。

インドのスネハル・ジャックンワさんは、白地にピンクの素敵な民族衣装。大きな写真も多数持参して準備万端。クラスメートの同じインドのアナミカ・ロックディさんが、写真掲示を手伝いました。協力しあっている様子がさすがでした。テーマはインドのお祭り。「最も重要なフェスティバルのリワリなど六つから七つ、日本語でお祭りをたくさん紹介できて嬉しかったです。

初めは少し緊張しましたがけれど、よい経験になりました」と、感想を語ってくれました。

母国や在日年数、学習段階はさまざまでも、みなさんの日本語学習への熱い思いが伝わってきました。途中のお茶とお菓子の休憩時間には楽しくおしゃべりもできました。終わりまでなごやかな雰囲気の中、閉会となりました。(報告 佐藤洋子)

房総 御宿ぐるり旅 バスハイクのお知らせ

今年は、房総半島の東、気候温暖で美しい海岸と自然景観に恵まれた御宿めぐりです。ご参加をお待ちしています。

- 日時：平成 26 年 2 月 23 日(日)
- 目的地：おんじゅく海の花祭り
- 集合：8 時 京成津田沼千葉銀行前
- 募集人数：35 名(先着順)
- 申込み：1 月 7 日(火)から事務局へ

●メールマガジンに読者登録を

スクウェアの電子版「メール・スクウェア」を毎月 1 回、配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方は PC メールアドレスを niasquare@m.jcnnet.jp まで。

広報から

●原稿をお寄せください

イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局または niasquare@m.jcnnet.jp へ

●スクウェア編集部員を募集しています

一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。